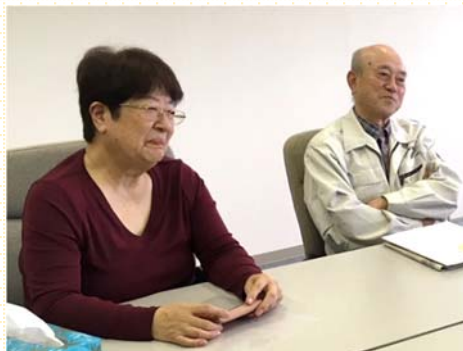


株式会社計装サービス

えい とく さだむ
永 徳 定 代表



黒田氏（左）と永徳代表（右）

5秒で水平！レベラー

株式会社計装サービスは、製品の設計も担当する代表の永徳定氏と、総務担当の黒田タツ子氏がタッグを組んで経営する会社。主な製品はコンテナクレーンに使う吊り具装置の「コンテナスプレッド」や、過積積がないか重量を計測する装置の「トラックスケール」などだ。

そのなかでも、主力製品「レベラー」は、クレーンで吊ったコンテナなどの荷物の傾きを、動力なしで、わずか5秒で水平にする装置。遠隔操作で水平がとれるため、従来の荷役作業のように、荷物の上で試行錯誤しながらワイヤーの長さを調整する必要がなくなり、安全かつ効率よく作業できるようになる。レベラーは自社開発製品で、特許も取得済み。吊り荷の重さ2t用、5t用、15t用、20t用、25t用がラインナップされている。

営業マンから技術者、創業へ

計装サービスの販売先は全国に広がるが、永徳氏は、顧客がどこの会社であっても、納品時だけでなく、その後も使い勝手などをうかがうようにしている。そのようなきめ細やかな対応を心がける姿勢に、黒田氏も絶大な信頼を置く。

お二人のタッグが始まったのは、永徳氏が大阪市内の建設用機械メーカーの営業部長を定年退職した後から。当時、株式会社ヒロテック（尼崎市）にいた黒田氏が、その仕事ぶりを見込んで熱心に声をかけ、営業部長に就任していただいたのだ。その後、同社のトラックスケール製造部門が株式会社計装サービスに、コンテナ水平維持装置の研究開発部門が株式会社レベラーとなる。この間、

永徳氏も独学でCADを習得して技術者へ転身、さらに株式会社レベラーの代表となり、2016年末からは計装サービスの代表も兼務することになった。まもなく経営効率を考え、計装サービスにレベラーの事業を承継させて、現在に至る。めまぐるしい変化と苦難の時期だったが、黒田氏とともに乗り越え、ようやく「地上に芽が出た」と思えるところまで来たという。

新たな協力関係と営業へのIT活用

計装サービスは、道意町にある尼崎リサーチ・インキュベーションセンターにオフィスを置いているが、ここで、他の入居企業とのつながりも生まれている。例えば、この事例集でも紹介した、クロススタッフ株式会社の溝口代表には、自社ホームページ制作を勧められ、「小規模事業者持続化補助金」を申請して、同代表に制作を依頼した。永徳氏、黒田氏とも最初はホームページに半信半疑だったそうだが、「レベラー」を紹介する動画などが威力を発揮し、問い合わせや受注が次々と舞い込んだ。

このような新しいつながりにも支えられながら、永徳氏、黒田氏の二人三脚での挑戦が続く。

企業データ

代表者プロフィール：70代・男性

創業：2012年

事業内容：コンテナスプレッドレベラーの製作・販売、トラックスケール等大型秤量機的设计・製作・塗装・組立・検定及び据付及び販売など

従業員数：5人（パートを含む）

所在地：尼崎市道意町7-1-3 尼崎リサーチ・インキュベーションセンター417号室

電話：06-6414-3880

ホームページ：<http://www.keisou-s.com/>